



秋田市発展の 原動力！ 成長戦略

平成29年3月24日、「第2期秋田市
中心市街地活性化基本計画」が
内閣総理大臣認定を受けました！

人口減少傾向にあつて

も、都市としての持続的な成長や発展をめざすため、限られた財源の有効活用を図り、秋田市の総合計画「新・県都『あきた』成長プラン」の5つの成長戦略に位置づけた事業へ予算を重点配分しました。

上段でもおなじ事業を、下段では新規事業を中心に詳しく紹介します。

【○】新規事業 【○】継続事業
*金額は千円以下四捨五入。

事業名(○内の太字は、継続事業の中でも新たに行う事業名です)。

戦略1 地域産業の振興と雇用の創出 64億578万3千円(全40事業)

●園芸作物価格補償事業 166万円

○園芸作物販売促進支援事業 259万円

(タリアPR活動)

○新規就農支援事業 3千816万円

(移住就農者営農開始支援事業)

○農商工連携ビジネス支援事業 754万円(今秋開催予定の(仮称)あきたスウィーツフェスタへの支援)

○農商工連携ビジネス支援事業 754万円(今秋開催予定の(仮称)あきたスウィーツフェスタへの支援)

○中心市街地商業集積促進事業

▼1億9千967万円(詳細は8ページ)

○都市・農村交流促進事業 421万円

(企業などの農業体験誘致)

○アンダー35正社員化促進事業

▼6千万円

○秋田港コンテナ航路開設促進事業

▼1千714万円

戦略2 芸術文化・スポーツ・観光に よる都市の魅力向上 6億2千412万円(全24事業)

●ホストタウン交流事業 3千65万円

●中心市街地優良建築物等整備事業費補助金 9千870万円

●市民の座1230ミニコンサート開催経費 30万円

●首都圏等修学旅行誘致事業

▼1千578万円

○オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費 1千500万円

○スポーツホームタウン推進事業

▼3千325万円

○県・市連携文化施設整備推進経費

▼6千238万円

○(仮称)あきた芸術祭検討経費

▼576万円



気になる事業を ワンポイント解説



★園芸作物価格補償事業

農協や全農を通じて共同出荷した園芸作物(ねぎ・タリア)の市場価格下落対策として、県・全農・農協・市などからの負担金を財源とする補助金を生産農家に交付します。

★タリアPR活動

秋田駅などに展示するとともに、首都圏でPR活動を行います。

★移住就農者営農開始支援事業

県外から秋田市へ移住し、新たに農業経営を開始する若手農業者を育成するため、戦略作物導入などに必要な経費を支援します。

★アンダー35正社員化促進事業

若者の安定した雇用拡大を図るため、35歳未満の非正規雇用者を正規雇用転換した企業へ、1人あたり年額20万円を3年間補助します。



★ホストタウン交流事業

2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン交流計画」に基づき、フィジー共和国ラ

グビーチームの事前合宿誘致を推進するため、中学生選抜ラグビーチームの派遣など、スポーツと文化交流を図ります。

また、マレーシア・バドミントン代表チームとの交流を通じてホストタウン登録をめざします。

★中心市街地優良建築物等整備事業費補助金

中心市街地に優良建築物として整備される多世代共生型の共同住宅について、民間事業者に対して整備に係る費用を補助し、中心市街地への居住を促します。

★市民の座1230ミニコンサート開催

市役所を親しまれる芸術文化の発信拠点にするため、1階市民の座でミニコンサートを開催します。



今年も中心市街地が熱い！

これが秋田だ！
食と芸能大祭典 2017



5/26(金) 27(土) 28(日)

最新情報はホームページで
<http://www.koreaki.jp/>